

[参考事項]

新技術名： クサギカメムシ越冬虫に対する各種殺虫剤の殺虫効果（平成8年）

研究機関名 秋田県果樹試験場鹿角分場
担当者 舟山 健

[要約]

クサギカメムシ越冬虫に対する各種殺虫剤の殺虫効果は、有機リン剤ではスミチオン水和剤、スプラサイド水和剤など、合成ピレスロイド剤ではアディオオン水和剤、パーマチオン水和剤などが高かった。

[ねらい]

リンゴ園で多発生したクサギカメムシに対する各種殺虫剤の殺虫効果を検定し、今後の防除対策のための資料を得る。

[技術の内容・特徴]

1. 材料および方法

クサギカメムシ越冬虫を採集して、直接処理（虫体浸漬処理）および間接処理（リンゴ果実浸漬処理後に供試虫を放飼）で試験した。調査は、直接処理は2日後まで、間接処理は放飼8日後まで行い、生虫と死虫を計数した。

2. 結果の概要

クサギカメムシ越冬虫に対して、虫体処理では多くの供試薬剤の殺虫効果は非常に高かった（表1）が、カーバメート剤や合成ピレスロイド剤の中ではサイハロン水和剤、マブリック水和剤およびペイオフMEの殺虫効果が低かった（表1）。間接処理では、スミチオン水和剤、スプラサイド水和剤、アディオオン水和剤は速効性と残効性が比較的高く、ダイアジノン水和剤とパーマチオン水和剤は遅効的で残効性は比較的高く、テルスター水和剤、ロディー水和剤およびエルサン水和剤は速効性は高かったが残効性は低かった（表2）。

3. もたらされる効果

カメムシ類の防除に使用する薬剤選択の参考になる。

[普及対象範囲]

県内のリンゴ栽培地域

[普及・参考上の留意事項]

①スミチオン水和剤およびスプラサイド水和剤はサビ果の発生が懸念されるので、落花後30日までは使用しない。

②合成ピレスロイド剤の中にはカメムシ類に殺虫効果の劣る剤があるので、選択には注意する。また、合成ピレスロイド剤は多用しない。

[具体的なデータ等]

表1 クサギカメムシ越冬虫の各種殺虫剤に対する感受性（虫体浸漬処理）

薬剤名	希釈倍率	処理後の日数と死虫数*	
		1	2
スミチオン水和剤	800	10	-
スプラント水和剤	1500	10	-
アディオン水和剤	2000	10	-
テルスター水和剤	1000	10	-
エルサン水和剤	1000	10	-
ハーマチオン水和剤	1000	10	-
タイアジノン水和剤	1000	10	-
ロティエ水和剤	1000	10	-
ハイスロイトEW	2000	10	-
DDVP乳剤	1500	10	-
オリオン水和剤	1000	10	-
アトマイヤー水和剤	2000	10	-
モスピラン水和剤	2000	10	-
アグロスリン水和剤	1000	7	10
テナホソ水和剤	800	9	9
トクチオン水和剤	800	3	8
スカウトフロアブル	2000	6	7
タースバン水和剤	1000	2	6
サイハロン水和剤	2000	3	2
マブリック水和剤	2000	2	2
ハオイ7ME	1000	1	1
ラービソ水和剤	1000	0	1

* 苦悶虫を含む累計数，供試虫数：1区10頭（♀5,♂5）

表2 クサギカメムシ越冬虫の各種殺虫剤に対する感受性（果実浸漬処理後放飼）

薬剤名	希釈倍率	放飼後の日数と死虫数*								TOTAL
		1	2	3	4	5	6	7	8	
スミチオン水和剤	800	12	12	12	6	5	4	2	3	56
スプラント水和剤	1500	7	7	8	5	5	4	1	2	39
アディオン水和剤	2000	9	5	3	5	5	3	3	1	34
タイアジノン水和剤	1000	0	4	9	7	6	3	1	3	33
テルスター水和剤	1000	11	5	2	3	3	2	1	1	28
エルサン水和剤	1000	9	4	5	5	0	1	1	1	26
ハーマチオン水和剤	1000	1	0	3	3	6	2	4	2	21
ロティエ水和剤	1000	10	2	3	1	1	0	0	0	17
タースバン水和剤	1000	0	2	4	3	3	0	0	0	12
アグロスリン水和剤	1000	6	1	0						
ハイスロイトEW	2000	4	2	0						
マブリック水和剤	2000	1	1	1						
トクチオン水和剤	800	1	0	1						
サイハロン水和剤	2000	0	0	0						
スカウトフロアブル	2000	0	0	0						
ハオイ7ME	1000	0	0	0						
DDVP乳剤	1500	0	0	0						
オリオン水和剤	1000	0	0	0						
テナホソ水和剤	800	0	0	0						
ラービソ水和剤	1000	0	0	0						
アトマイヤー水和剤	2000	0	0	0						
モスピラン水和剤	2000	0	0	0						
CONT.	-	0	0	0	0	0	0	0	0	

死虫数（苦悶虫を含む）の生虫を補って12頭（♀6,♂6）を放飼。
[発表文献等]